

湖西線沿線の文化財の紹介

昭和49年開業の湖西線

4月から、新たに通勤や通学で湖西線を利用する方もおられるのではないのでしょうか。湖西線は、昭和6年に浜大津、今津間で開通した江若鉄道にかわり、山科から近江塩津間を結ぶ国鉄（現在のJR）として、昭和42年に着工され、昭和49年7月に開業されました。

この高島市から大津市にかけて、琵琶湖と比良山系に挟まれた平野部を縦走する湖西線沿線には多くの遺跡が存在します。湖西線の開業時の昭和40年代には、宅地開発や別荘地の造成が相次ぎ、それに伴い多くの遺跡が確認されました。

市内では、安曇川駅前整備に伴

う南市東遺跡の発掘調査では、弥生時代や古墳時代の住居跡が発掘され、古墳時代の土器からは、朝鮮半島との交流がうかがえます。また、新旭駅舎建設に伴う堀川遺跡の発掘調査では、古墳時代の集落跡や平安時代の建物跡が発掘されたほか、市内丘陵地の別荘地では、多くの古墳群の確認調査などが行われました。

沿線文化財の展示紹介

これらの調査された遺跡を今に伝える展示スペースが、JR大津京駅構内に設けられています。この展示スペースでは、これまで大津宮や大津市エリアの湖西線各駅の文化財紹介が行われてきました

が、今年2月から、高島市エリアの文化財の展示紹介が行われています。これから3年をかけて、近江高島駅をスタートに、安曇川駅、新旭駅、近江今津駅、近江中庄駅、マキノ駅と湖西線を北上しながら、各駅周辺の遺跡および文化財の展示紹介が行われます。



現在、その第1弾として、5月末まで近江高島駅周辺の遺跡、文化財の展示紹介が行われています。展示内容は、近年発掘調査が行われ、織田信長や安土城との関連性や、明智光秀が設計（縄張り）したと伝わる、大溝城跡の調査成果や出土瓦（軒丸瓦・軒平瓦）のほか、今年開藩400年という節目を迎える大溝藩の関連文化財として、大溝藩の5基の曳山模型などが祭りの紹介とあわせて展示されています。

図文化財課
☎ (32) 4467



市内の駅マップ

特に、今年400年を迎える大溝藩では、5月3日（宵宮）から4日（例大祭）にかけて記念イベントが行われることから、湖西線を利用した誘客が期待されます。高島の遺跡、文化財を改めて皆さ

編集雑感

4月は身の回りが色々に変化する月ですね。P6でも紹介していますが、市役所では4月に各部署の引っ越しが行われますので、それ以降に市役所に来られる際はご注意ください。また、4月といえば、何も分からない広報の部署へ私がやってきたのは3年前でした。それからは、毎月の締め切りに追われながらの広報誌作成や、ホームページ・SNSによる情報発信などを行っています。少しでも「最近市役所の情報が身近になったなあ」と感じる人が増えてきていると嬉しいです。（H）

お詫びと訂正

広報たかしま3月号の歴史散歩に次の誤りがありました。訂正のうえ心からお詫びいたします。
4段目の滋賀県知事の氏名（誤）中川弘 →（正）中井弘



広報たかしま

平成31年

4

月号 No.231

発行▼高島市

編集▼政策部企画広報課
滋賀県高島市新旭町北畑5の5番地

☎ 0740(25) 8000(代)
http://www.city.takashima.lg.jp
t:info@city.takashima.lg.jp